

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公表番号】特表 2004-524780 (P2004-524780A)
 【公表日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-031
 【出願番号】特願 2002-584535 (P2002-584535)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 L 9/32

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 7 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 28 日 (2003.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子署名システムを利用した署名を行うデバイスを使用してデータに電子署名及び／又はデジタル署名する方法であって、

前記データの少なくとも一部を前記署名を行うデバイスに予め格納された一組以上の属性と比較するステップと、

前記データ又は前記データの一部が予め格納された一組以上の属性の少なくとも一部に適合している場合は、前記署名を行うデバイスに前記属性の組の全部又は一部を表示するステップと、

前記電子署名システムを利用して、表示された前記属性の組の一部に基づいて前記データの暗号署名を実行するように署名を行うデバイスのユーザに要求するステップとを特徴とする方法。

【請求項 2】

1 以上の前記属性が動的データを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記署名リクエストは、S I M アプリケーションツールキット (S A T) のアプリケーションを利用したリクエストとして、又は、S i g n T e x t () リクエストを有する W M L スクリプトとして、署名を行うデバイスに送信されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記比較するステップの前に、

署名を使用するシステムにおいて、署名を行うデバイスと互換性を持つように前記データをコンパイルするステップと、

前記コンパイルしたデータを前記署名を行うデバイスに転送するステップを有することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

前記要求するステップの後に、

前記署名の結果として、前記署名を使用するシステムにその署名を返戻するステップを有することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

署名を行うデバイスは特定のプロトコルを使用した、暗号が使用可能な小型デバイスであり、署名を使用するシステムは前記データの一部を前記プロトコルにコンパイルするように適応することを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記プロトコルは W A P（ワイヤレスアプリケーションプロトコル）であり、署名を行うデバイスは、W A P が使用可能な携帯型デバイスであることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記電子署名システムは秘密 / 公開鍵を使用していることを特徴とする請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

前記データは、ドキュメント、形式、割り当て、トランザクション又は P K I（公開鍵基盤）証明書のリクエストであることを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

署名が W A P 1 . 2 の s i g n T e x t（）の機能を用いて実行されることを特徴とする請求項 7 ないし 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】

S I M アプリケーションツールキット（S A T）を使用して実行される暗号署名アプリケーションを用いて実行されることを特徴とする請求項 7 ないし 9 のいずれかに記載の方法。